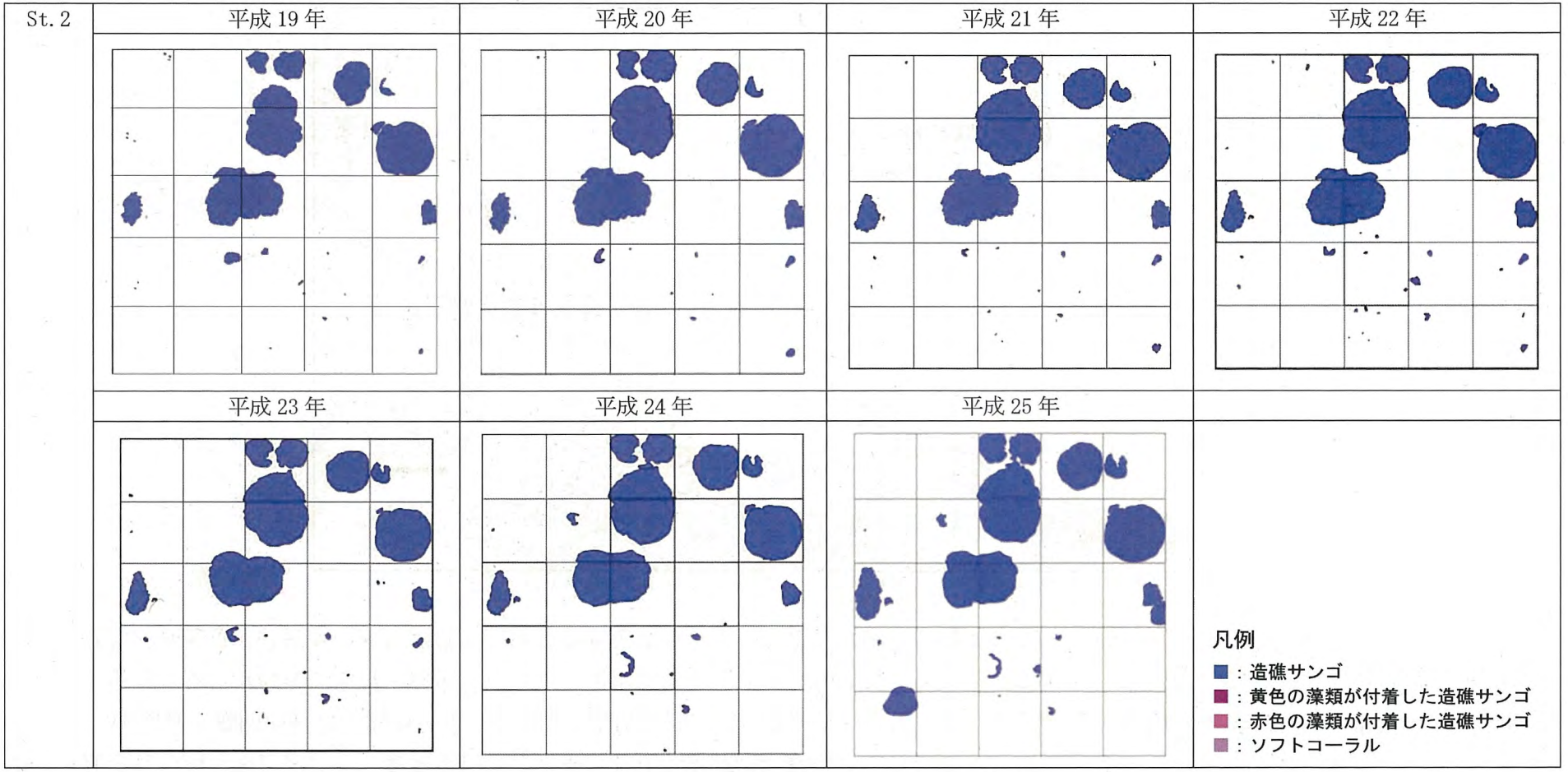


図-1.6.3(1) サンゴ類の詳細観察結果（St. 2）

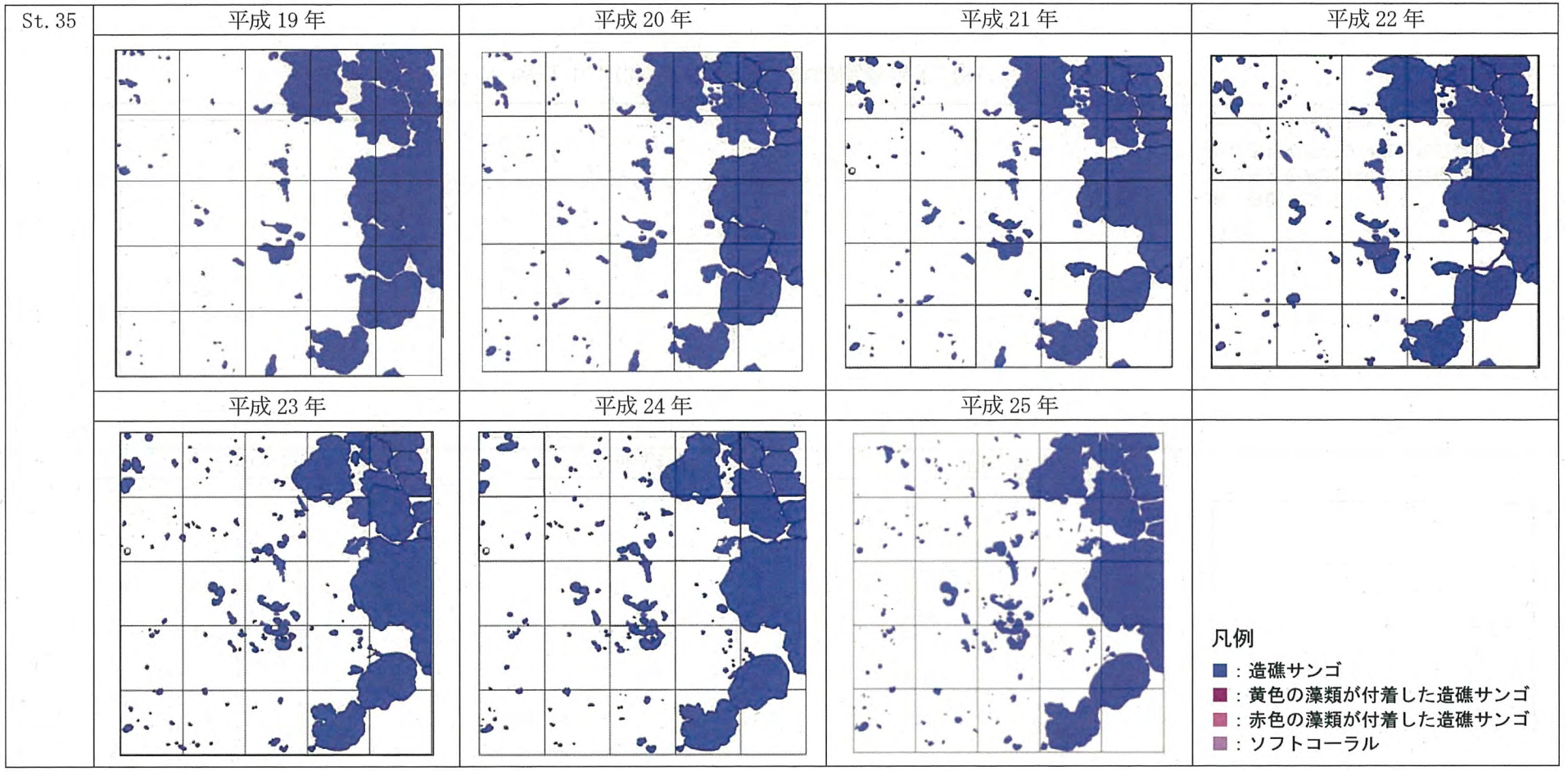


図-1.6.3(2) サンゴ類の詳細観察結果（St. 35）

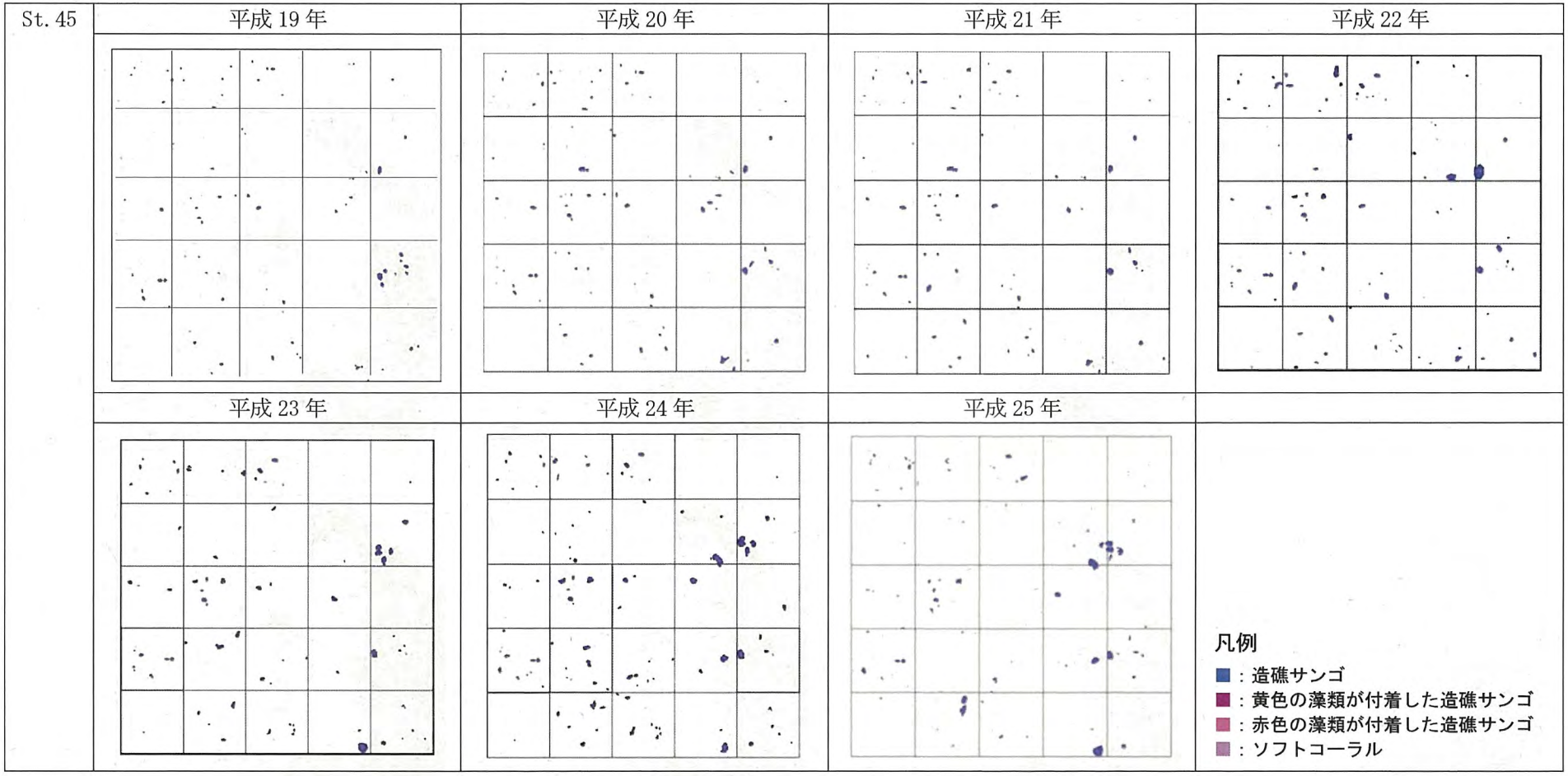


図-1.6.3(3) サンゴ類の詳細観察結果（St. 45）

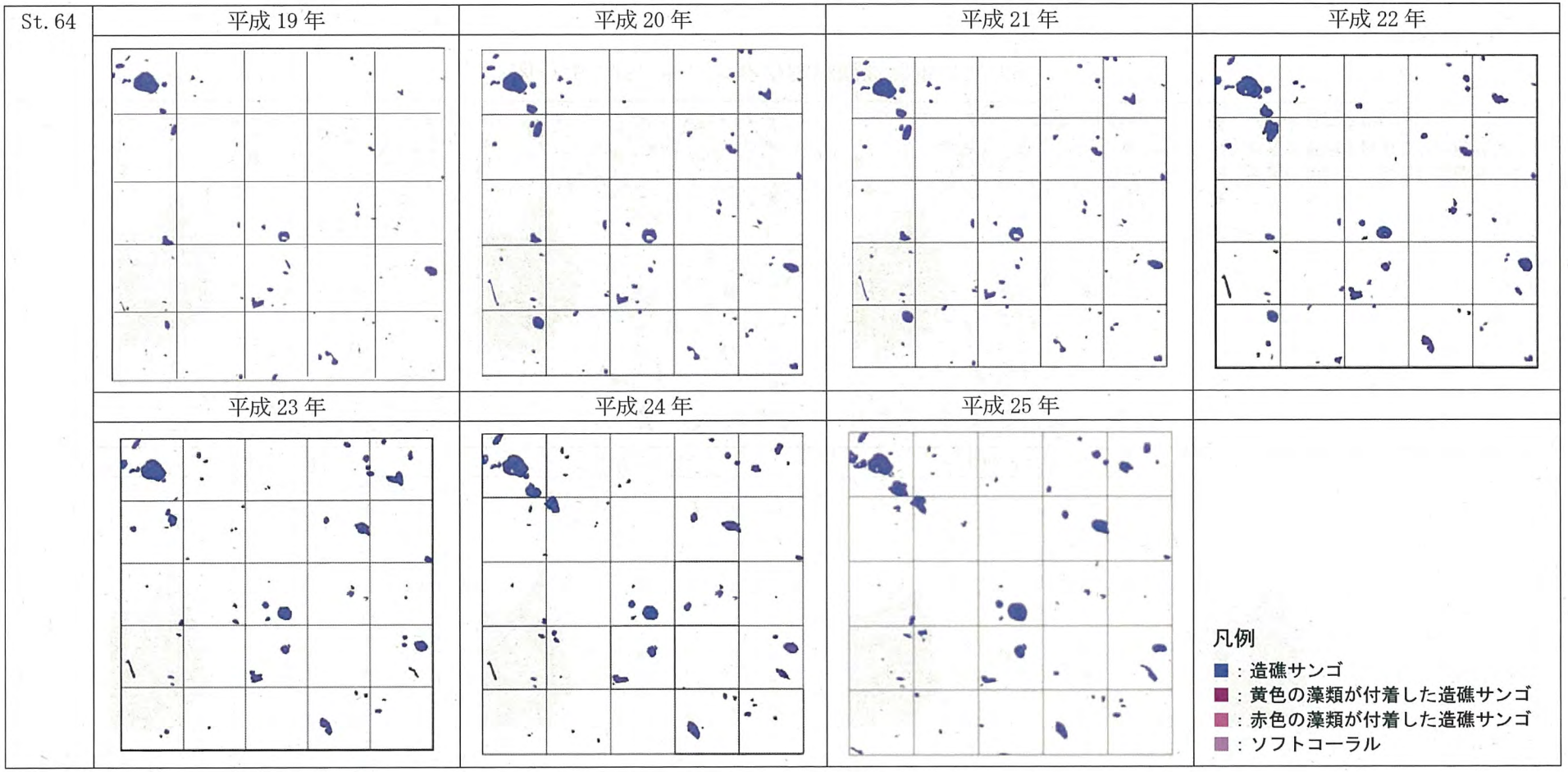


図-1.6.3（4）サンゴ類の詳細観察結果（St. 64）

St. 69

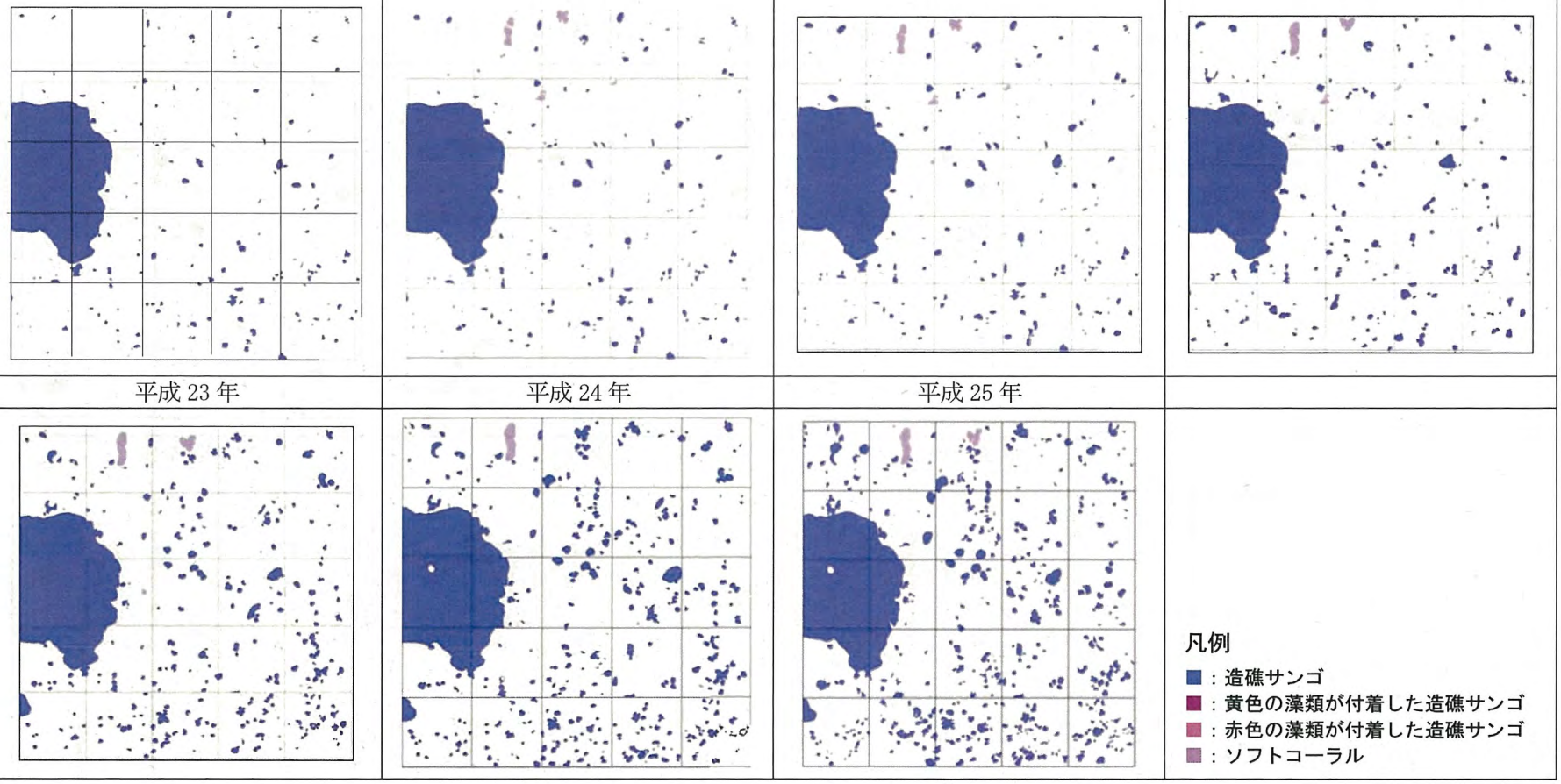


図-1.6.3(5) サンゴ類の詳細観察結果（St. 69）

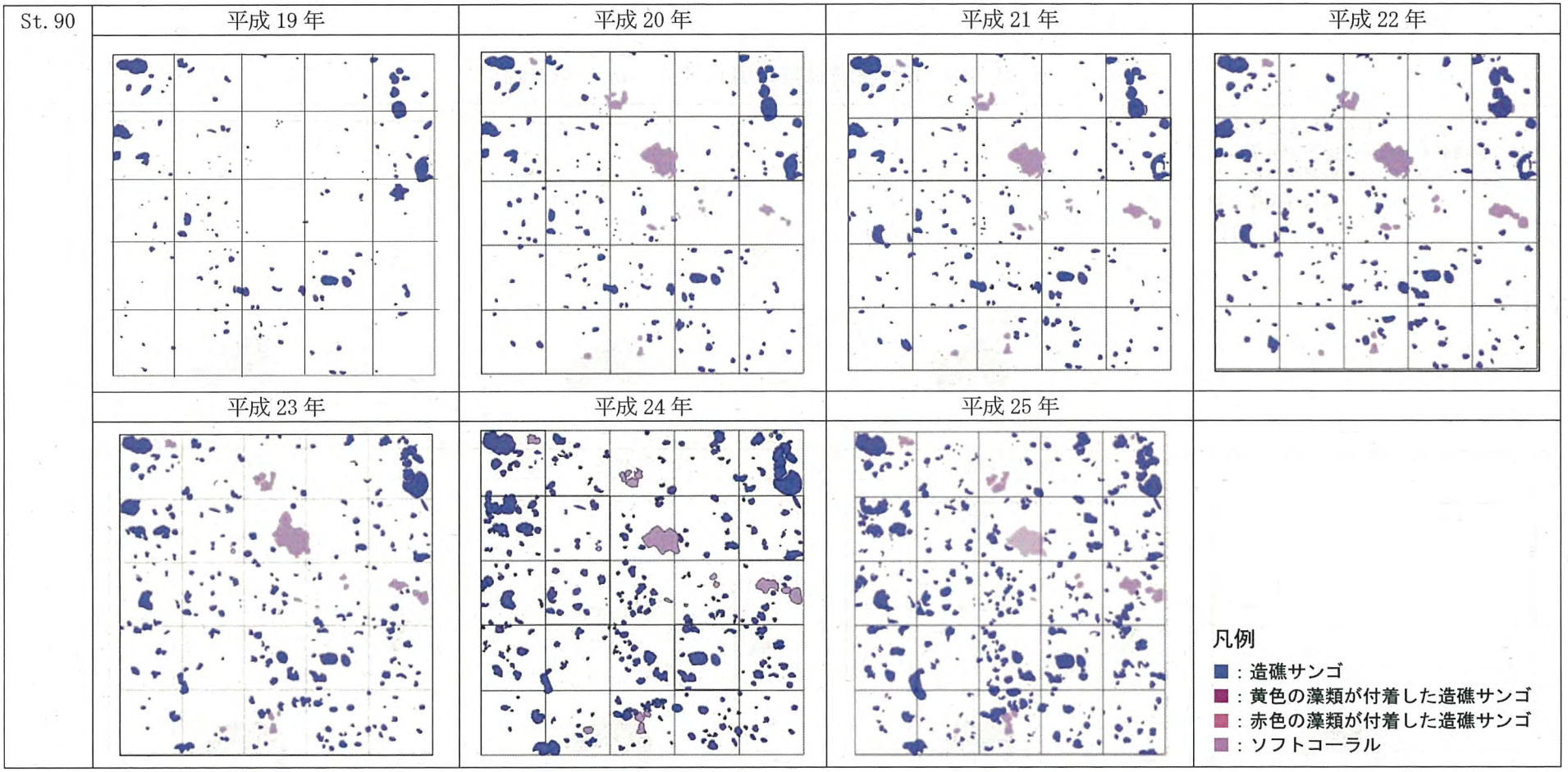


図-1.6.3(6) サンゴ類の詳細観察結果（St. 90）

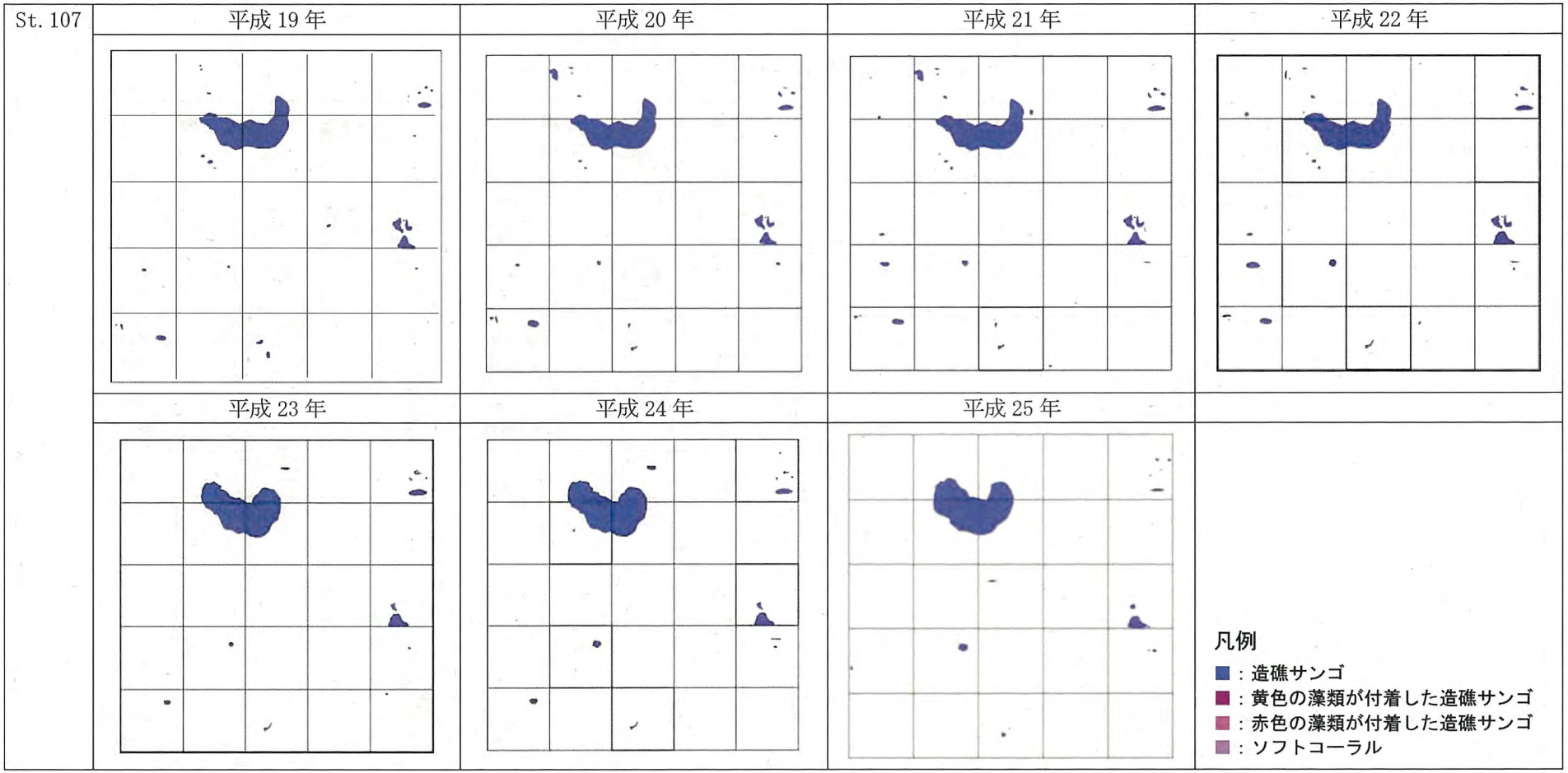
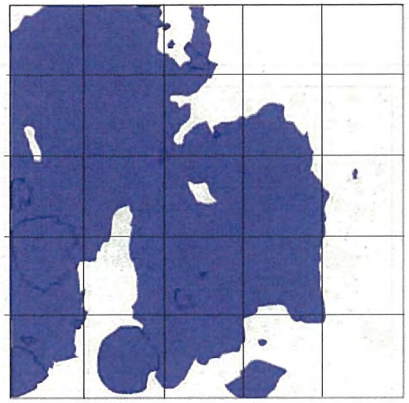


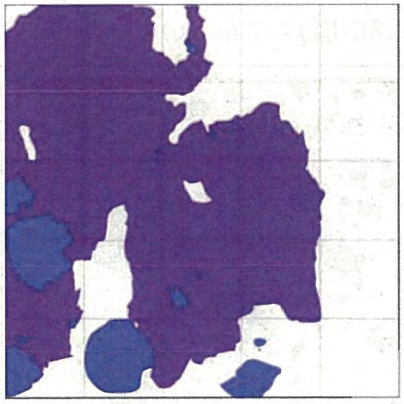
図-1.6.3(7) サンゴ類の詳細観察結果（St. 107）

St. 122

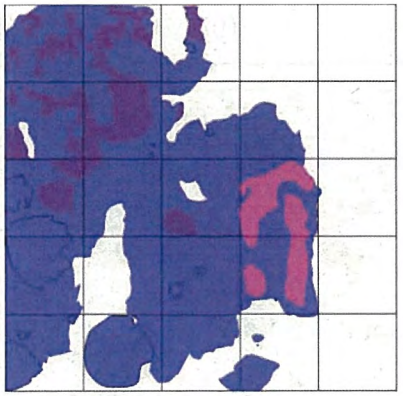
平成 19 年



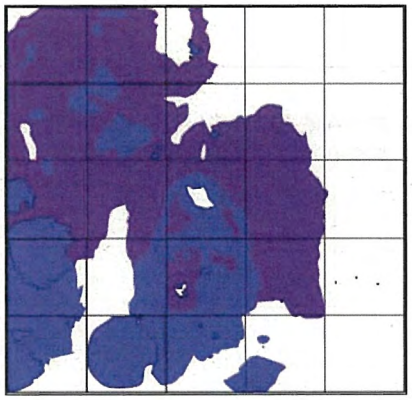
平成 20 年



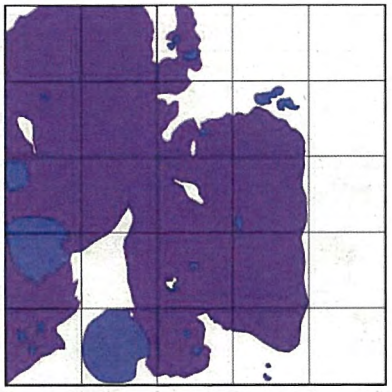
平成 21 年



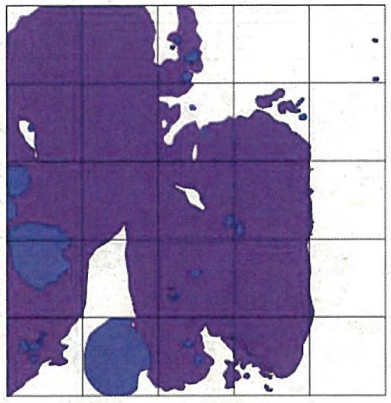
平成 22 年



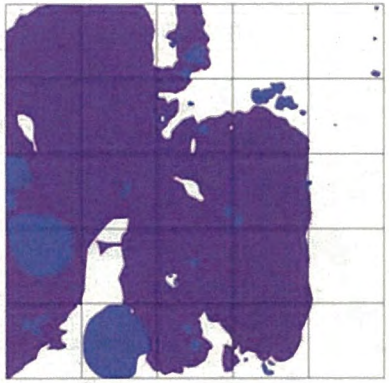
平成 23 年



平成 24 年



平成 25 年



凡例

- ：造礁サンゴ
- ：黄色の藻類が付着した造礁サンゴ
- ：赤色の藻類が付着した造礁サンゴ
- ：ソフトコーラル

図-1.6.3(8) サンゴ類の詳細観察結果（St. 122）

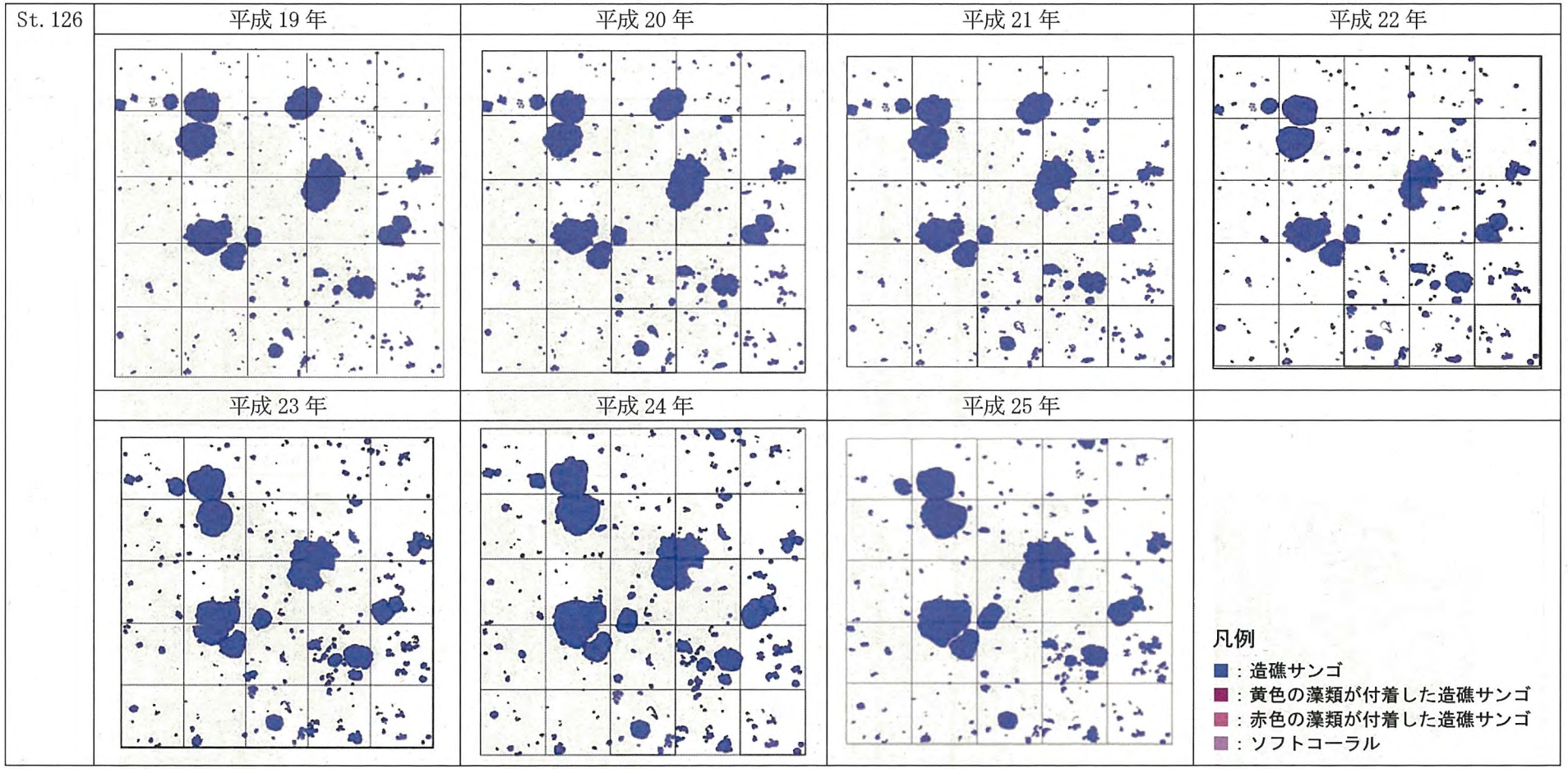


図-1.6.3(9) サンゴ類の詳細観察結果（St. 126）

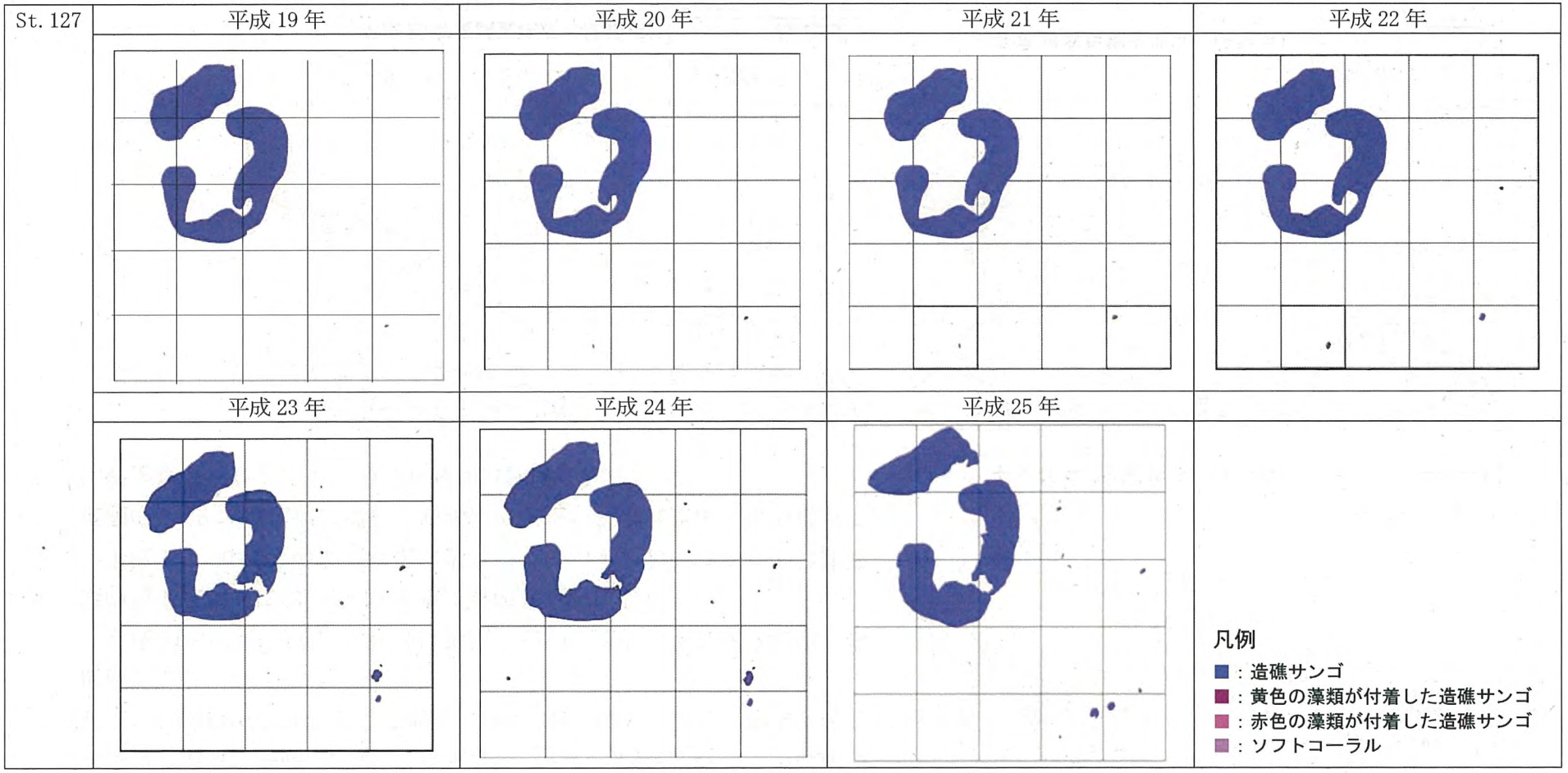


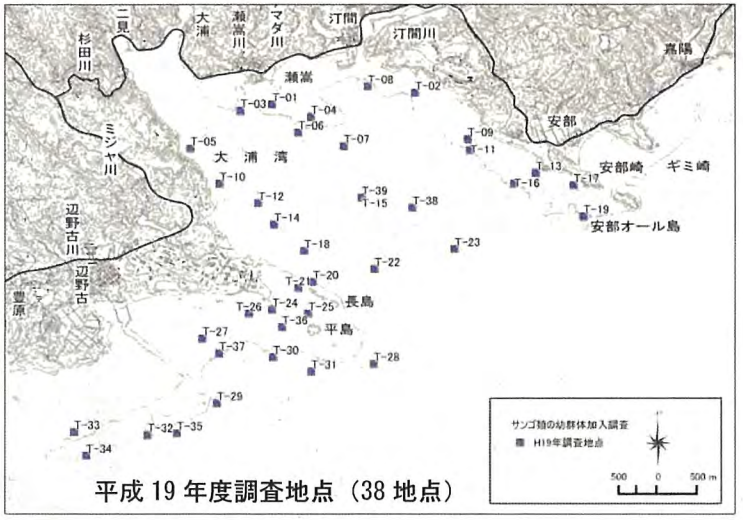
図-1.6.3(10) サンゴ類の詳細観察結果（St. 127）

(c) サンゴ幼体の加入状況調査結果

平成 19、20 年度の現況調査では、サンゴ類の浮遊幼生が着生する状況を把握するため、セラミック製の着床基盤（着床具）を図-1.6.4に示す多数の地点の海底に設置し、数ヶ月後にその一部を回収して幼群体の着生する幼群体を計数することによって、地点ごとの様態の加入状況を把握した。

平成 21～25 年度では本調査は実施しなかったが、平成 26 年度は、事業の施工区域内における 14 地点で着床具を設置した。

平成 19、20 年度の調査結果は表-1.6.1に示すとおりであり、大浦湾東側の St.9 では比較的頻繁に幼群体の着生がみられたが、他の地点では着生数が少なく、一定の分布傾向は認められなかった。



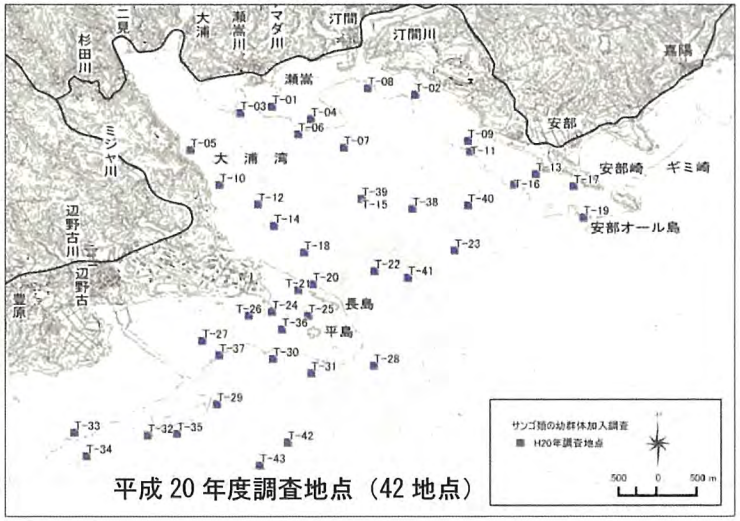


図-1.6.4　サンゴ幼体の加入状況調査地点

表-1.6.1　サンゴ幼体の加入状況調査結果（各地点とも着床具を960個設置し、各調査回次に120個を回収して計数した）

平成19年度調査結果

調査地点	設置(H19.5.18、19)	台風来襲に伴う移設(H19.7.10)	回収時の着床幼群体数 1回につき1ケース（120個）を回収				備考
	2架台(8ケース、960個)を設置	1架台(4ケース、480個)をT39に移設	第1回(H19.11.9、10)	第2回(H20.1.26、27)	第3回(H20.4.5)	第4回(H20.5.7～14)	
T1	○	－	1	1	0	1	
T2	○	－	0	0	1	0	
T3	○	－	0	0	0	0	
T4	○	－	1	0	0	0	
T5	○	－	0	0	0	0	
T6	○	－	0	0	0	0	
T7	○	－	0	0	0	0	
T8	○	－	0	0	0	0	
T9	○	－	2	2	3	0	
T10	○	－	0	0	0	0	
T11	○	－	－(台風来襲時に着床具が流失したため回収できず)				
T12	○	－	0	0	0	0	
T13	○	－	0	0	0	0	
T14	○	－	0	0	0	0	
T15	○	－	0	0	0	0	
T16	○	○	1	0	0	0	移設地点(T39)から回収
T17	○	○	1	0	2	1	
T18	○	－	0	1	4	1	
T19	○	○	0	0	0	0	移設地点(T39)から回収
T20	○	○	1	1	0	0	
T21	○	－	1	0	0	0	
T22	○	○	0	0	0	0	移設地点(T39)から回収
T23	○	○	0	1	0	1	移設地点(T39)から回収
T24	○	－	1	1	0	1	
T25	○	○	1	0	1	1	
T26	○	－	0	0	0	0	
T27	○	－	0	0	0	0	
T28	○	○	0	4	0	0	移設地点(T39)から回収
T29	○	○	1	0	0	0	移設地点(T39)から回収
T30	○	○	2	0	0	0	
T31	○	○	0	1	1	0	移設地点(T39)から回収
T32	○	○	0	0	0	0	移設地点(T39)から回収
T33	○	－	0	1	0	0	
T34	○	○	1	1	0	0	移設地点(T39)から回収
T35	○	○	0	0	0	0	移設地点(T39)から回収
T36	○	－	0	0	1	0	
T37	○	－	0	0	0	0	
T38	○	○	0	0	1	0	
着床幼群体の確認地点数			13	10	8	6	
着床幼群体の合計確認数			14	14	14	6	

平成20年度調査結果

調査地点	設置(H20.5.7、8、14)	台風来襲に伴う移設(H20.7.12、13)	回収時の着床幼群体数 1回につき1ケース（120個）を回収				備考
	2架台(8ケース、960個)を設置	1架台(4ケース、480個)をT39に移設	第1回(H20.8.24、25)	第2回(H20.10.20、22)	第3回(H20.12.12、14)	第4回(H21.2.4、5)	
T1	○	－	0	2	0	1	
T2	○	－	0	0	0	0	
T3	○	－	0	0	2	0	
T4	○	－	0	0	1	0	
T5	○	－	0	0	0	0	
T6	○	－	1	0	1	0	
T7	○	－	0	0	0	0	
T8	○	－	0	0	0	0	
T9	○	－	7	7	5	1	
T10	○	－	0	0	1	0	
T11	○	○	1	0	0	2	
T12	○	－	0	0	0	0	
T13	○	－	0	0	0	0	
T14	○	－	0	0	1	0	
T15	○	－	0	0	1	0	
T16	○	○	0	1	0	0	
T17	○	○	0	0	0	0	
T18	○	－	1	2	0	0	
T19	○	○	0	0	2	1	
T20	○	○	0	1	1	1	
T21	○	－	0	0	0	0	
T22	○	○	0	0	1	2	
T23	○	○	1	4	4	1	
T24	○	－	1	1	0	0	
T25	○	○	0	4	0	0	
T26	○	－	2	0	0	0	
T27	○	－	1	0	0	0	
T28	○	○	0*	1*	0*	3*	*移設地点(T39)から回収
T29	○	○	0	4	0*	1*	*移設地点(T39)から回収
T30	○	○	0	0	0	0	
T31	○	○	0	0	1**	0	**ケース欠損のため回収した着床具は96個
T32	○	○	1	0	0	0	
T33	○	－	0	0	0	0	
T34	○	○	0	0*	0*	0*	*移設地点(T39)から回収
T35	○	○	0	5	1	0	
T36	○	－	0	0	0	1	
T37	○	－	0	0	0	0	
T38	○	○	0	2	1	0	
T40	○	○	0	0	0	0	
T41	○	○	0	0	0	0	
T42	○	○	0	0	0	0	
T43	○	○	0	0	0	0	
着床幼群体の確認地点数			9	12	14	10	
着床幼群体の合計確認数			16	33	22	10	

注）平成20年度：第3回回収時にT31において回収した着床具は、ケースが欠損していたため96個であった。なお、移設地点(T39)からも1ケースを回収して着床具(120個)を確認したが、着床幼群体はみられなかった。